

2023年 ソーラー・人力ボートレース 全日本選手権大会

報告書

開催場所：静岡県湖西市・ボートレース浜名湖

実施日：2023年9月17・18日



日本ソーラー・人力ボート協会

JAPAN SOLAR & HUMAN POWERED BOAT ASSOCIATION

ごあいさつ



塩谷立名誉会長

日本ソーラー・人力ボート協会 名誉会長
衆議院議員

塩谷 立

2023 ソーラー・人力ボートレース全日本選手権大会が、記録的な酷暑の中、ボートレース浜名湖を会場に16チーム（20艇）をお迎えし開催できました事心より御礼申し上げます。

参加チーム並びに選手はもとより、野口晴也委員長はじめ大会関係者のご尽力に改めて感謝申し上げます。

開会式が始まるころの想定外のスコールには気が揉めましたが、大会開催中は好天に恵まれ、各種競技を無事行うことができました。ありがとうございました。

四方を海に囲まれた我が国において、海を知り、海に親しむことは極めて大切なことです。また、昨今は地球温暖化や環境汚染等の環境問題やエネルギー問題が大きくクローズアップされてきています。

こうした状況下においての「ソーラーボート」「人力ボート」が「夢の船」として追求される場、テストの場として「ソーラー・人力ボートレース全日本選手権大会」の位置づけであると受けとめています。

「ボートレース浜名湖」での2回目の開催となりました今大会は、『ボート製作を通じ、技術の向上と豊かな人間形成』が図れたものと、大会関係者の一人としてうれしく思います。

今年の貴重な学びを次につなげるためには、世界的に環境問題が取り上げられる昨今、話題となる『ソーラー・人力ボート』の取り組みを、新マリンスポーツの発展、さらには国際交流及び親善の推進に寄与する活動に広げて参りたいと考えています。

繰り返しになりますが、「2023 ソーラー・人力ボート全日本選手権大会」を成功に導いていただきました大会関係者各位に対しまして深甚なる感謝を申し上げ、御礼の言葉に替えます。誠にありがとうございました。

ごあいさつ

日本ソーラー・人力ボート協会会長 野口 晴也



本年の大会はマリンスポーツ財団、浜名湖競艇事業団及び協賛企業の皆様の協力と官公庁のご後援を頂き、猛暑の中でのわか雨に見舞われましたが概ね天候に恵まれ全レースを無事開催する事が出来たこと感謝いたします。

開会式には浜松市長代理、湖西市長など多くの来賓をお迎えし開催する事が出来ました。

近年地球温暖化の影響も有り脱炭素社会、SDGsに向けた活動が盛んになり我々のソーラー・人力ボートもエコなマリンスポーツとして認識されこの大会も注目される様になりました。本大会も参加チームは2チーム増え16チーム20艇と成り参加艇の増加も見られ、性能向上に努力しアイデアを凝らした成果により自己新記録を更新したチームも多く出て将来期待が持てるように成りました。会場では学生チームが増え女性部員も多く又、浜名湖海洋少年団ボランティアなど若者が多く参加し華やかで活気ある会場と成りました。

柳川ソーラーボート競技会実行委員、柳川市役所の職員の皆さまや多くのマリンスポーツの関係者の視察も有り互いに協力し合いこのエコなマリンスポーツの競技の普及に貢献したいと思います。そして浜名湖がエコマリンスポーツの聖地であることを広く認識してもらえよう努力して参ります。

本年は参加者の負担を軽減する為競技日程を2日間に短縮しましたので準備、運営があわただしく又、実行委員の高齢化により運営上若干不備も有りましたが参加者の皆様のご協力で無事終了する事が出来たこと感謝いたします。

最後に浜名湖海洋少年団の皆様のボランティアの協力有難う御座いました。

☀️ ソーラー・人力ボートレース全日本選手権プログラム ☀️

【タイムスケジュール】

9月17日(日)

- ・08:00~11:30 受付・協会船舶検査
- ・11:30~12:00 開会式
- ・12:00~12:45 昼食
- ・13:00~13:15 選手ミーティング
- ・13:30~14:30 ショートレース予選ラウンド(100m)
- ・15:00~15:40 ショートレース決勝ラウンド(200m)
- ・17:30~19:30 ウェルカムパーティー



9月18日(月)

- ・09:00~ 選手ミーティング
- ・09:45~10:30 ソーラー・人力1周スラロームレース
- ・10:30~12:00 昼食
- ・12:30~14:00 ソーラー・人力1時間耐久周回レース
- ・15:00~15:30 表彰・閉会式



大会35年の歩みと点描

回数	大会開催年度	大会名	場所	主催者	記事	ソーラー隻数	人力隻数
1	1989	浜名湖ソーラーボートレース	ヤマハマリーナ浜名湖	浜松青年会議所	浜松JCの単年度事業として開催		
2	1990	浜名湖ソーラーボートレース	ヤマハマリーナ浜名湖	ヤマハ発動機(株)			
3	1991	浜名湖ソーラーボートレース	ヤマハマリーナ浜名湖	浜名湖ソーラー協会	浜名湖ソーラー協会設立、第1回夢の船コンテスト		
4	1992	浜名湖ソーラーボートレース	ヤマハマリーナ浜名湖	浜名湖ソーラー協会	第2回夢の船コンテスト		
5	1993	浜名湖ソーラーボートレース	浜名湖競艇場	浜名湖ソーラー協会	第3回夢の船コンテスト		
6	1994	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会	ソーラーと人力が合流。日本ソーラー・人力ボート協会設立	23	25
7	1995	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会	ソーラー・人力の合計参加艇65隻		
8	1996	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		16	37
9	1997	ソーラー・人力ボートレース	ヤマハマリーナ浜名湖	日本ソーラー・人力ボート協会		16	27
10	1998	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		19	34
11	1999	ソーラー・人力ボートレース	三ヶ日青年の家	日本ソーラー・人力ボート協会		21	22
12	2000	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会	スーパーフェニックス世界記録	21	24
13	2001	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		20	20
14	2002	ソーラー・人力ボートレース	天竜ボート場	日本ソーラー・人力ボート協会		18	21
15	2003	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		16	20
16	2004	ソーラー・人力ボートレース	浜名湖競艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		21	23
17	2005	ソーラー・人力ボートレース	佐鳴湖漕艇場	日本ソーラー・人力ボート協会		15	14
18	2006	ソーラー・人力ボートレース	三保内浜海水浴場	日本ソーラー・人力ボート協会		9	18
19	2007	ソーラー・人力ボートレース	三保内浜海水浴場	日本ソーラー・人力ボート協会		13	19
20	2008	ソーラー・人力ボートレース	三保内浜海水浴場	日本ソーラー・人力ボート協会		9	18
21	2009	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		6	14
22	2010	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		4	12
23	2011	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		4	11
24	2012	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		4	10
25	2013	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		4	12
26	2014	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		3	9
27	2015	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		4	10
28	2016	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		3	10
29	2017	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		5	13
30	2018	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会	※30回記念大会	2	14
31	2019	ソーラー・人力ボートレース	碧南市勤労青少年水上スポーツセンター	日本ソーラー・人力ボート協会		3	14
32	2020	ソーラー・人力ボートレース	ボートレース浜名湖	日本ソーラー・人力ボート協会	コロナにより中止	-	-
33	2021	ソーラー・人力ボートレース	ボートレース浜名湖	日本ソーラー・人力ボート協会	コロナにより中止	-	-
34	2022	ソーラー・人力ボートレース	ボートレース浜名湖	日本ソーラー・人力ボート協会	※HV 1隻参加	4	12
35	2023	ソーラー・人力ボートレース	ボートレース浜名湖	日本ソーラー・人力ボート協会	※HV 1隻参加	6	13



静岡新聞

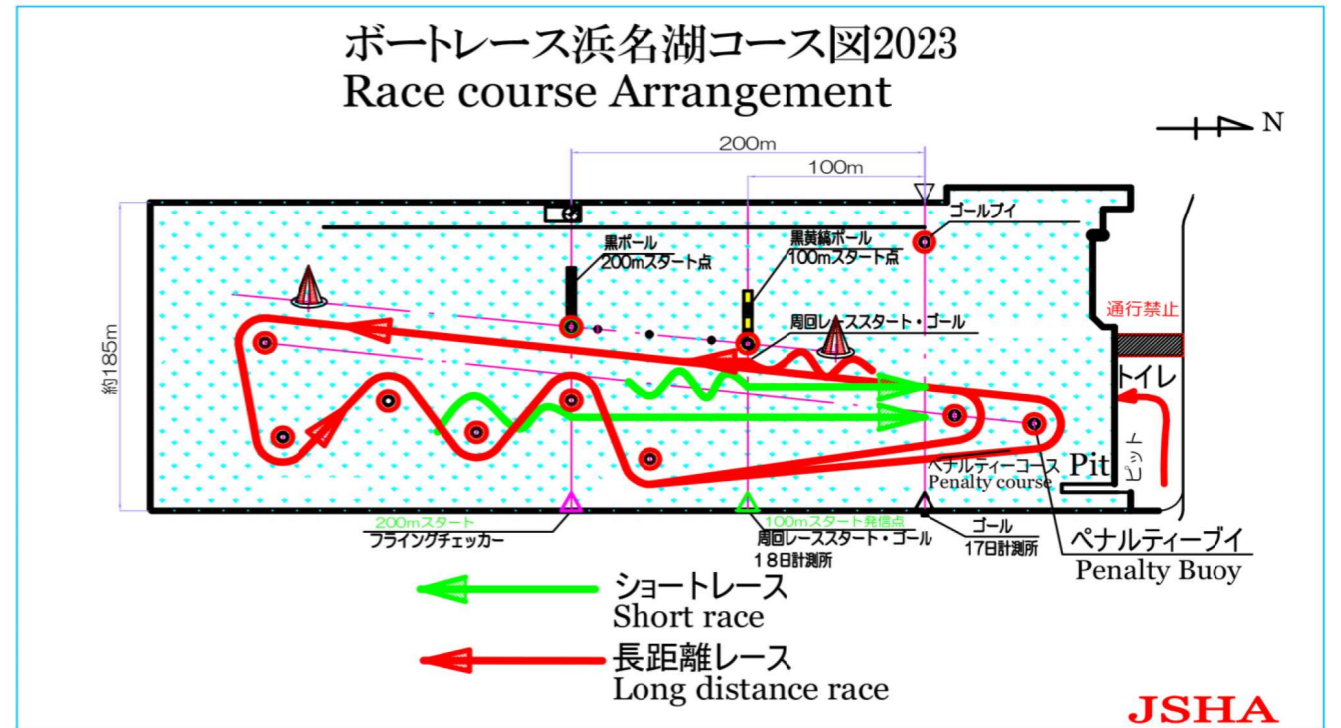
中日新聞



【ソーラー・人力ボートレースへの参加艇一覧】

艇番	クラス	部門	船名	チーム名	所在地
2	ソA	一般	WHITE-HAWK S27	都田チャレンジ	静岡県浜松市
7	ソA	一般	SAVOIA (サヴォイア)	マンマユート	静岡県浜松市
27	ソB	学生	トライビ-チ	Ylab	東京都荒川区
29	ソB	学生	あめんぼ	鳥羽商船高等専門学校	三重県鳥羽市
30	ソB	学生	鳥羽スライダー	鳥羽商船高等専門学校	三重県鳥羽市
31	ソB	一般	我流	長良フレディ	岐阜県不破郡
42	人A	一般	COGITO 2023	チーム COGITO	静岡県浜松市
45	人A	一般	悟空	ひょうたん島	神奈川県伊勢原市
48	人A	一般	エンゼル フィッシュ	FRPが固まらんチーム	大阪府高槻市
61	人B2	一般	フリッパ-III	スウィング・ロールフリッパ-	神奈川県逗子市
63	人B	学生	夕風	産技高専海洋環境研究会	東京都荒川区
64	人B	一般	クッビ-	FRPが固まらんチーム	大阪府高槻市
67	人B	学生	オイスカμ	オイスカμ	静岡県浜松市
68	人B	一般	夕彩	海洋環境研究会OBチーム	東京都荒川区
71	人B	一般	カナカイ	ウッドシーヤッククラブ	神奈川県鎌倉市
73	人B2	一般	ゴ-ルテントルフィン	トラボン	三重県名張市
74	人B2	一般	Xin chao 5.2	日本艦漕連盟	静岡県吉田町
76	人B	学生	夕入	産技高専海洋環境研究会	東京都江東区
78	人B2	一般	ストライダー	スウィング・ロールフリッパ-	神奈川県逗子市
91	HV	一般	スティーブ 21号	すてい~う” んすん	愛知県名古屋市

*91は参考出走(賞外)



ソーラーA (水中翼可)



2

WHITE HAWK S-27 / 都田チャレンジ / 静岡県浜松市

河合荘景 柳田祥之
中野宏康 代表 松本真芳
チーム 都田チャレンジ



7

SAVOIA / マンマユート / 静岡県浜松市

チョン・ジェフン
柏山智幸
幸田光海



ソーラーB(水中翼不可)



30

鳥羽スライダー / 鳥羽商船高等専門学校 / 三重県鳥羽市

古森郁尊
松井幸大
濱田大斗
(辻井郁也)



31

我流 / 長良フレンディ / 岐阜県垂井町

富永常夫
吉田京子



ソーラーB(水中翼不可)



27

トライピーチ / Ylab / 東京都荒川区

山本広樹 代表
中山仁凱
三木悠太



29

あめんぼ / 鳥羽商船高等専門学校 / 三重県鳥羽市

登録選手

宮木優 奥野未晴
小崎浩志郎 藤原綾乃
寺田智哉 西尾夢乃
小野原大空 舩元愛佳
中村京祐 安田夏海
中野桂佑 中西優斗



ハイブリッド(参考出走)



91

スティフ21号/すてぃーうんずん / 愛知県名古屋市

吉崎博俊
地蔵隆
大澤くる美
推進装置は電動船外機、電源は
バッテリーとそれを充電する頭
上のソーラーパネルと船首側ク
ルーの手回し DC 発電機の HV



計測所ブース 風景



古河バッテリー殿からソーラーボート用バッファとしてご支給頂いている鉛蓄電池の前年度大会使用のものと55Wソーラーパネル、1000W正弦波インバーターを組み合わせて、計測機器やPCの電源として使用してみた。今年は天候に恵まれ概ね賄えることは実証出来たが、来年はソーラーパネル、バッテリーはサイズアップして不安の無い出力を確保するつもりである。



鈴与株式会社



人力A (水中翼可)



42

COGITO 2023/ チームコギト / 静岡県浜松市



松野央
深村英明
船越育雄
上村正毅
及川健太
堀内俊介
松浦昌海
北澤大志
柳原 序
本山 孝



70

悟空 / ひょうたん島 / 神奈川県伊勢原市



代表 山本豊彦
選手 渋谷慎之

今大会では水中翼を装備した人力Aクラスでの参戦、昨年の雪辱を果たすべく#48川上さんのサポートも得てドライブ系の改修を行ってきた



48

エンゼルフィッシュ/FRPが固まらんチーム/大阪府高槻市



代表 川上伸一
川上次朗

写真の#64は川上二郎さんの操る人力Bクラスのグッピー

このチームのすべての艇の船体の材質はチタン合金製、一度触ってみてほしい。確かに軽い

上下架はこのエレベーターで行う。艇が浮いて船台から離れたら棧橋へ移動させる。浮力のある木製船台には重りを取り付け浮き上がらないようにする



トラボンの船台重り



人力B (プロペラ有・水中翼無し)



63

汐風 / 産技高専海洋環境研究部/東京都荒川区



代表 池田蒼空
渡邊博重
辰井琥次郎
増岡伊吹
堀籠慈朗



64

グッピー/ FRP が固まらん / 大阪府高槻市

代表 川上伸一
川上次朗



67

オイスカμ / オイスカμ / 静岡県浜松市



萩 哲也
中村旭良
高橋連
池谷隼人
伊藤奨麻



68

汐彩/ 海洋環境研究会OBチーム / 東京都荒川区



前川晃平
鈴木秋就
五十嵐博紀
玉置伸太郎
宮内 柊
齋藤領太



人力B (プロペラ有・水中翼無し)



カナカイ/ウッドシーカヤッククラブ/神奈川県鎌倉市

代表 金井紀彦



汐入 / 産技高専海洋環境研究部 / 東京都江戸川区

代表 中山 新井敬士
川端華蓮 柴田拓弥
伊藤弥琴 石川貴之
奈良田志温 小田心春
藤村大樹 (友澤慧)



人力B (プロペラ無し・水中翼無し)

今大会より新設されたカテゴリ



フリッパーⅢ/スイングロールフリッパー /神奈川県逗子市

代表 横井達郎

その特異な推進方法で見るとほっこりさせるヒレ推進艇のシンボリック存在。



船体中央部両舷に取り付くヒレ



人力B (プロペラ無し・水中翼無し)

今大会より新設されたカテゴリ



ゴールテンドルフィン / トラポン/ 三重県名張市

代表 櫻井博士

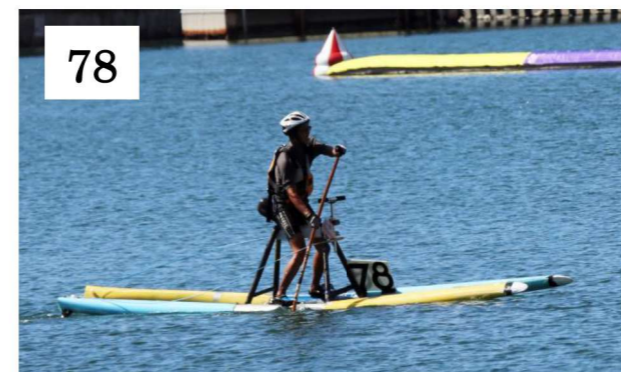
ヒレをドルフィンキックのように上下に動かし推進。毎年改良を重ね今回も過去最高タイムを漕ぎ出した。



Xin chao 5.2 / 日本艦漕連盟 / 静岡県吉田町

代表 婆羅おさむ

オリジナル船楫を操り毎回安定した成績を収めている。このカテゴリの中では最速艇。



ストライダー/スイングロールフリッパー/神奈川県逗子市

足ヒレとパドルで推進力を得るプリミティブな艇

代表 横井達郎
操船者 豊岡誠司



アトラクション



過去参加チームACAの水上自転車の試乗会。前輪下部のプロペラで航走する

浜名湖海洋少年団主催のSUP体験試乗会



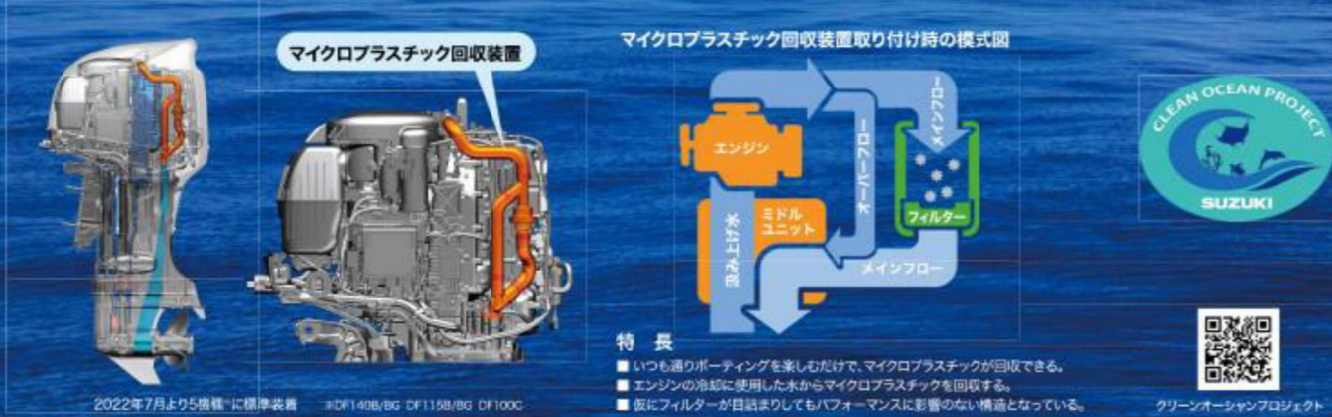
SUZUKI CLEAN OCEAN PROJECT

スズキは海洋環境の改善に取り組んでいます。

1. クリーンアップ・ザ・ワールドキャンペーン
2. プラスチック梱包資材の削減
3. 海洋マイクロプラスチックの回収

世界初マイクロプラスチック回収装置(MPC)標準装備の船外機の開発

スズキの製品を使って、海洋マイクロプラスチックごみを減らすことができないか、それもエンジンの性能に影響を及ぼさず、環境を書さない方法でできないか、とスズキは考えました。この解決策として、マイクロプラスチック回収装置を開発しました。



大会運営・開会式 Race Management-1



遊びにも 沈まない安心を。

ASOBOAT アソボート

お問い合わせ 053 485 1331 浜口ウレタン株式会社 〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1961

浜松委託倉庫株式会社





MCよりの来賓紹介



浜松市長 田中祐介様代理 産業部長 北島 秀明様



湖西市長 影山 剛士様



浜名湖競艇企業団 企業長 鈴木 利亨様



選手説明会



レースは9月17日午後からショートレース予選ラウンド(100m)、ショートレース決勝ラウンド(200M)、翌18日は午前一周スラロームレース(約1000m)、午後1時間耐久周回レースが予定通り実施された。



ショートレース決勝ラウンド(200m)トップグループのスタート

ショートレース予選ラウンド(100m)の競技要領

各艇は100mスタートライン後方の洋上で待機しスタート審判のコールに従って1艇ずつ順次スタートし100mを走り切りそのタイムを競う。決められた時間帯の中でなら何回でもトライできる。その中で得られた最高タイムを持ちタイムとする。このタイムによって決勝ラウンド(200m)の出走枠(グループ)が決まる。

ショートレース決勝ラウンド(200m)の競技要領

予選ラウンドの成績順に上位最大6艇毎に1枠(グループ)を構成し、そのグループごとに順位決定レースを行う。スタートは一斉フライングスタート(ランニングスタート)とし、タイムは計測するが100mのように標中間を正確に計測するのではなく枠内順位確定のためのものである。したがって1~6位のグループの出場艇は7位以下にはならない。



ロングレース・一周スラローム(約1000m)のスタート

ロングレースの競技要領

前日のショートレース終了後周回レース用マークブイを設置しロングレース用水面を作成。

1周スラローム、1時間耐久周回の2レースとも同じコースを使用する。

1周スラロームレース

全艇一斉にスタート、1周しゴールした順に順位を決定する。水中翼艇の翼走状態のターンが見もの。

1時間耐久周回レース

全艇一斉スタートし、約1時間後にゴールしたときの周回数の多い順に順位を決定する。人力・ソーラー艇共にエネルギーマネジメントがカギとなるレース。ソーラー艇はAクラス480W以下、Bクラス100W以下のソーラーパネルの設置が定められているのでバッファ(バッテリー)容量、天候によるソーラーパネルの充電能力変化も考慮してモーター出力をコントロールしながら1時間の航走を維持しなくてはならない。



競技・航走2



#2WHITE HAWK の一人舞台であったソーラーA クラスに今年から#7のSAVOIA が加わり接戦が期待されたがかなわず。来年の挑戦に期待したい。

爆走する#2 White Hawk S=27



今年から参戦した#7 SAVOIA



#31 我流

ドライブ系の改良で自己新記録更新中



#27 トライビーチ

全種目完走で昨年の雪辱を成し遂げたYLab



非常用パドルで航走中の 汐彩



激走する#42 COGITO 2023



ドライバー後部に上図のような整流カウルを装備する予定であったが試走の結果、横風の影響が無視できない事が判明し実戦では取り外した。



一周スラロームで#64グッピーを引き離しにかかる #70 悟空 (手前)



ギヤ音を響かせながら左舷ブイを通過する #48 エンゼルフィッシュ(人力A)と姉妹艇の #64 グッピー(人力B)共にチタン合金製



今年も優雅な走りです全種目完走し好成績の #71 カナカイ



今年はヒレの相性が良くなかったが、#61 フリッパー

本艇の推進の仕組みは当協会活動報告書“2021年大会に向けて”20頁に開発者横井氏の寄稿文で詳しく説明されている。

競技・航走3



1時間耐久で力走中の #73 ゴールデンドルフィン

1時間耐久レース中の #74 シンチャオ 5.2、どのレースでも #73 と順位を競っている。ノンプロベラ部門では現在最速



#74シンチャオ 5.2



#78 スライダー

最近では足ヒレの使用が少なくなったストライダー



#91 スティープ21

1時間耐久レースでは男性のジェネレーターエンジンがフル稼働、スキッパーは女性

#67 オイスカμの奮闘

#67 オイスカμは協会所有のμ (ミュウ) をオイスカμチーム (学生チーム) に貸与してレースに参加。9月17日試走のため下架の最中に船首部 1/3 の接合部にあるファスナー (締め金具) 固定部が破損し艇として致命的な損傷を受けてしまった。原因は艇の老朽化によりファスナー取り付け部の固着釘が効かない状況であり通常の修理は出来ない事が判明。彼らの採った手段と結果は如何に。



100m11位

1	レース名	計測タイム/100m
	100m タイムトライアル	60.11 秒

ショートレースでは急遽折損部をテーピングして出走したが、間もなくテープは剥れ甲板部の金具のみで辛うじて写真のような状態で何とか走り切った。発泡体を FRP 被覆した船体のため浮力は確保している



200m11位

2	レース名	計測タイム/100m
	200m タイムトライアル	53.84 秒

ショートレースの状況を踏まえ、船体の折れ曲がり防止するため右図のような添え木処置をしてロングレースに臨んだ



ベルトや粘着テープのせいで多少の抵抗増加はやむを得ないが正常な形状による抵抗減少は航走タイムに現れたようだ

3	レース名	計測タイム/100m
	一周スラローム	53.15 秒

一周スラローム 7位



4	レース名	計測タイム/100m
	1時間耐久スラローム	47.41 秒

1時間耐久 4位でゴールのオイスカμ アップレ!



このようにオイスカμチームは各レース毎に修理を繰り返し全レースを完走、速力は最終レースで最速となった。また来年は自分たちの艇を製作してレースに臨みたいとの言葉も頂いた。期待しています!

Race結果 (ショートレース)

100m タイムトライアル結果

枠	順位	艇番	クラス	部門	チーム名	船名	タイム
4	1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE-HAWK S27	0:08.66
	2	42	人A	一般	チーム COGITO	COGITO 2023	0:13.53
	3	48	人A	一般	FRPが固まらんチーム	エンゼル フィッシュ	0:26.11
	4	7	ソA	一般	マンマユート	SAVOIA (サウ'ォイア)	0:30.05
	5	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	0:30.63
3	6	70	人A	一般	ひょうたん島	悟空	0:34.37
	7	71	人B	一般	ウッドシーカヤック クラブ	カナカイ	☆ 0:35.47
	8	31	ソB	一般	長良フレンジイ	我流	☆ 0:41.12
	9	74	人B	一般	日本艦漕連盟	Xin Chao 5.2	0:45.46
	10	73	人B	一般	トラボン	ゴールデンドルフィン	☆ 0:48.03
2	11	67	人B	学生	オイスカμ	オイスカμ	1:00.11
	12	78	人B	一般	スウィングロール フリッパー	ストライダー	☆ 1:00.90
	13	61	人B	一般	スウィングロール フリッパー	フリッパーⅢ	1:03.77
	14	27	ソB	学生	Ylab	トライビータ	1:12.88
	15	91	HV	一般	すてい〜う”んすん	スティーブ21号	☆ 1:21.77
1	16	68	人B	一般	海洋環境研究会OBチーム	汐彩	2:14.49
	17	29	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	あめんぼ	DNR
	18	30	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	鳥羽スライダー	DNR
	19	63	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐風	DNR
	20	76	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐入	DNR

注:「枠」は200m決勝レースの出走枠を示し、200m決勝では枠内での順位決定戦となる。 ☆は5年間自己新
 (注)DNS:スタートできず DNF:ゴールできず DNQ:失格 NEN:棄権 DNR:出走せず

200m Final Result

枠	順位	艇番	クラス	部門	チーム名	艇名	200m	
							タイム	順位
4	1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE-HAWK S27	0:21.96	1
	2	42	人A	一般	チーム COGITO	COGITO 2023	0:34.63	2
	3	48	人A	一般	FRPが固まらんチーム	エンゼル フィッシュ	1:13.56	3
	4	7	ソA	一般	マンマユート	SAVOIA (サウ'ォイア)	1:16.75	4
	5	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	2:39.71	5
3	6	70	人A	一般	ひょうたん島	悟空	1:02.42	6
	7	71	人B	一般	ウッドシーカヤック クラブ	カナカイ	1:20.65	7
	8	31	ソB	一般	長良フレンジイ	我流	1:31.33	8
	9	74	人B	一般	日本艦漕連盟	Xin Chao 5.2	1:42.80	9
	10	73	人B	一般	トラボン	ゴールデンドルフィン	1:52.36	10
2	11	67	人B	学生	オイスカμ	オイスカμ	1:47.69	11
	12	78	人B	一般	スウィングロール フリッパー	ストライダー	2:17.75	12
	13	27	ソB	学生	Ylab	トライビータ	2:42.51	13
	14	91	HV	一般	すてい〜う”んすん	スティーブ21号	2:51.22	14
	15	61	人B	一般	スウィングロール フリッパー	フリッパーⅢ	3:24.04	15
1	16	68	人B	一般	海洋環境研究会OBチーム	汐彩	5:45.39	16
	17	29	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	あめんぼ	DNR	17
	17	30	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	鳥羽スライダー	DNR	18
	17	63	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐風	DNR	19
	17	76	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐入	DNR	20

注:「枠」は200m決勝レースの出走枠を示し、200m決勝では枠内での順位決定戦となる。

1時間耐久周回レース

順位	艇番	クラス	部門	チーム名	船名	周回	最終タイム	1周スラローム
1	2	ソA	一般	都田チャレンジ	WHITE-HAWK S27	14	1:01:19.59	1
2	70	人A	一般	ひょうたん島	悟空	10	1:02:40.98	3
3	64	人B	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	9	1:02:49.57	4
4	67	人B	学生	オイスカμ	オイスカμ	8	1:03:13.45	7
5	48	人A	一般	FRPが固まらんチーム	エンゼル フィッシュ	8	1:04:16.40	6
6	31	ソB	一般	長良フレンジイ	我流	8	1:06:40.53	8
7	73	人B2	一般	トラボン	ゴールデンドルフィン	6	1:04:00.48	11
8	74	人B2	一般	日本艦漕連盟	Xin Chao 5.2	6	1:04:15.10	10
9	71	人B	一般	ウッドシーカヤック クラブ	カナカイ	5	54:04.92	9
10	91	HV	一般	すてい〜う”んすん	スティーブ21号	5	1:11:14.04	14
11	42	人A	一般	チーム COGITO	COGITO 2023	4	1:03:39.16	2
12	78	人B2	一般	スウィングロール フリッパー	ストライダー	4	1:03:40.76	12
13	27	ソB	学生	Ylab	トライビータ	3	45:58.61	13
14	7	ソA	一般	マンマユート	SAVOIA (サウ'ォイア)	DNR	—	5
14	29	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	あめんぼ	DNR	—	DNR
14	30	ソB	学生	鳥羽商船高等専門学校	鳥羽スライダー	DNR	—	DNR
14	61	人B2	一般	スウィングロール フリッパー	フリッパーⅢ	DNR	—	DNR
14	63	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐風	DNR	—	DNR
14	68	人B	一般	海洋環境研究会OBチーム	汐彩	DNR	—	DNR
14	76	人B	学生	産技高専海洋環境研究部	汐入	DNR	—	DNR

2023年ソーラー・人カボートレース全日本選手権大会 クラス別成績表

艇番	部門	チーム名	船名	総合順位		100m		200m		一周スラローム、 一周間耐久	
				クラス	順位	タイム	順位	タイム	クラス	順位	タイム

●ソーラー部門 クラスA

2	一般	都田チャレンジ	WHITE-HAWK S27	1	3	1	0:08.66	1	1	2:38.05	1	14	1:01:19.59
7	一般	マンマユート	SAVOIA (サウ'ォイア)	2	6	2	0:30.05	2	4	1:16.75	2	14	DNR

赤字:過去5大会の自己新記録

●ソーラー部門 クラスB

31	一般	長良フレンジイ	我流	1	3	1	0:41.12	1	8	1:31.33	1	6	1:06:40.53
27	学生	Ylab	トライビータ	2	6	2	1:12.88	2	13	2:42.51	2	13	45:58.61
29	学生	鳥羽商船高等専門学校	あめんぼ	3	9	3	DNR	3	17	DNR	3	14	DNR
30	学生	鳥羽商船高等専門学校	鳥羽スライダー	3	9	4	DNF	3	17	DNR	3	14	DNR

●人カボート部門 クラスA

42	一般	チーム COGITO	COGITO 2023	1	5	1	0:13.53	1	2	0:34.63	1	4	1:03:39.16
70	一般	ひょうたん島	悟空	2	6	3	0:34.37	3	6	1:02.42	2	10	1:02:40.98
48	一般	FRPが固まらんチーム	エンゼル フィッシュ	3	7	2	0:26.11	2	3	1:13.56	3	8	1:04:16.40

●人カボート部門 クラスB (PROP有り)

64	一般	FRPが固まらんチーム	グッピー	1	3	1	0:30.63	1	5	2:39.71	1	3	1:02:49.57
67	学生	オイスカμ	オイスカμ	2	7	3	1:00.11	3	11	1:47.69	2	4	1:03:13.45
71	一般	ウッドシーカヤック クラブ	カナカイ	3	8	2	0:35.47	2	7	1:20.65	3	9	54:04.92
68	一般	海洋環境研究会OBチーム	汐彩	4	12	4	2:14.49	4	16	5:45.39	4	14	DNR
63	学生	産技高専海洋環境研究部	汐風	5	13	5	DNR	5	17	DNR	4	14	DNR
76	学生	産技高専海洋環境研究部	汐入	5	13	6	DNR	5	17	DNR	4	14	DNR

●人カボート部門 クラスB (PROP無し)

74	一般	日本艦漕連盟	Xin Chao 5.2	1	4	1	0:45.46	1	9	1:42.80	1	10	1:04:15.10
73	一般	トラボン	ゴールデンドルフィン	2	5	2	0:48.03	2	10	1:52.36	2	11	1:04:00.48
78	一般	スウィングロール フリッパー	ストライダー	3	9	3	1:00.90	3	12	2:17.75	3	12	1:03:40.76
61	一般	スウィングロール フリッパー	フリッパーⅢ	4	12	4	1:03.77	4	15	3:24.04	4	14	DNR

●ハイブリット部門 (参考出走)

91	一般	すてい〜う”んすん	スティーブ21号	1	3	1	1:21.77	1	14	2:51.22	1	10	1:11:14.04
----	----	-----------	----------	---	---	---	---------	---	----	---------	---	----	------------

ウェルカムパーティー>Welcome Party



本パーティーの開催にあたり事前整備された素晴らしい場所、設備をご提供頂いた杉本様に心よりお礼申し上げます。

表彰式・閉会式 Closing Ceremony・Recognize-1





2023 年 35 回大会は、一瞬通り雨に打たれましたが、太陽が出ると蒸し暑い夏の空が戻る灼熱の 2 日間でした。会場は昨年に続き、安定した水面のボートレース浜名湖での開催です。連日南風が吹き、大会初日は 6m/s 前後のフォローの風が吹くコンディションでした。

今年から皆さんの要望が強かった 2 日間競技とし、東側（正面スタンドの反対側）にコースを設定して、ショートレースは南から北にスタート、ロングレースは北から南にスタートする設定とし、東駐車場にいるチームの皆さんがレースを見て自分のチームを応援しやすくしました。表彰に関して一番参加チームの多い人力 B クラスをプロペラ有とプロペラ無に分けて評価する事をトライしました。今後共チームの皆さんの声に沿うように改善していきたいと考えています。

大会を振り返ると、ソーラーA クラスは“マンマユート”という新たなチームが参戦し、“都田チャレンジ”との接戦が期待されましたが、結果は“都田チャレンジ”の独壇場になり、マンマユートは来年に向け安定した浮揚姿勢が保てるような改良が望まれます。来年からは新たなチームの参戦も期待され、三つ巴の熱戦を期待しております。ソーラーB クラスは昨年に続き“長良フレンディ”が終始安定した走りを見せ、全種目 1 位となりました。“Ylab”も昨年より改善が見られました、クラスは違いますが、“すていーぐんすん”もチャームな艇です。これらの艇はスピード以外の魅力をアピールしているようで、他チームの参考になるのではと思います。

人力 A クラスは、チーム COGITO が 1 時間耐久中に、シャフトのナットが緩む事故でタイムロス余儀なくされ、ひょうたん島に 1 位を譲りましたが、総合優勝はチーム COGITO が勝ち取りました。ひょうたん島の健闘が光る中、長年大会に参戦されたオーナーの山本さんが現場で見られなかったのは残念でした。

この好レースに水をおさず表彰間違いが発生し、関係者の皆様に大変ご迷惑をお掛けした事、あらためてお詫びして、再発防止に努めたいと思います。

人力 B プロペラ有クラスは参戦した 3 チーム全艇が全種目完走したのは見事でした。FRP が固まらんチームが全種目制覇し、総合優勝を勝ち取りました。

人力 B プロペラ無クラスは 4 艇参戦し 3 艇が完走しました。しかも 2 艇が自己新記録を達成する好結果でした。総合優勝した日本船層連盟とトラポンは終始接戦を繰り広げましたが、僅差で日本船層連盟が制しました。

今回の自己新記録達成は 5 チームでした。●“長良フレンディ”●“ウッドシーカヤッククラブ”●“トラポン”●“スイングロールフリッパー”●“すていーぐんすん”です。フォローの風が追い風になったとはいえ、日頃の努力の結果だと思えます。

一点チームの皆様にお礼があります。会場に持ち込む艇は全種目完走できる艇を目標に設計して、会場に持ち込む前にこの目標に到達している事を確認するようにして下さい。遠路はるばる持ち込むわけですから、協会側としても何とか航走してほしい、この気持ちが強くスタート時間が終始遅れ気味になり、時間通り待機するチームに迷惑をかけている現状を何とか打開したい皆さん協力宜しくお願いします。

最後になりましたが、風に強い環境を提供してくれた、ボートレース浜名湖の皆さま、レースの安全確保に努めて頂いたマリンジェットのレスキューの皆さま、現場を支えてくれた浜名湖海洋少年団をはじめとするボランティアの皆さま、皆さまの地道なサポートが好結果をもたらしたと深く感謝して居ります



マリンスポーツ財団主催のマリンスポーツの普及を目的としたイベントで、協会は地球環境、脱炭素社会、SDG s を目指す協力団体として参加、ソーラー・人力ボート標記大会を下記のとおり実施致しました。

- ・開催日 2023.7.30 (日)
 - ・会場 海の森水上競技場
 - 住所 東京都江東区海の森3丁目6-44
- 実施状況



7月29日

遠隔地からの来場チームは29日午後に指定の場所にて艇の組立調整、試走を行った。海上は午後から西南西の風が強くなり(8m/s程度)翌30日の競技の実施が危ぶまれた。

7月30日

1. 開会式

予定の10:30よりJSHA関係の開会式を行った。



MARIS 岡村常務理事



JSHA 野口会長



MC サコさん



メインスタンド

2. 100mレース

予定通りまず100mレースを開始した。各艇スタート地点に向かうも強風のため時間を要し約5分遅れのスタートとなった。その間MCのサコさんが各艇の見どころを紹介しながらコールし観客席を盛り上げていた。このレース終了後大会運営者と協議し、強風のため以降の海上競技は中止と決まった。

出走艇は15艇、着順は下表のとおりであった。

艇番	艇名	クラス	代表選手名	順位
42	Cogito2023	人力A	船越育雄	1
45	悟空	人力A	渋谷慎之	2
31	我流	ソーラーB	富永常夫	3
74	どんぶらこ	人力C	婆羅おさむ	4
81	MD-3	人力C	土井 厚	5
73.	ゴールデン Dolphin	人力C	櫻井博士	6
66	ネオンテトラ	人力B	川上伸一	7
82	なつ風プラス	人力C	竹島 弘	8
80	エスペランサ	人力C	中川 徳	9
33	Kojikoji64	ソーラーB	小嶋日出	10
78	ストライダー	人力C	豊岡誠司	11
64	グッピー	人力B	川上伸一	12
76	汐入	人力B	大口淳一	13
61	フリッパーⅢ	人力C	横井達郎	DNF
71	Kana Kai	人力B	金井紀彦	DNS

*クラス人力Cは人力B ノンプロペラ部門とし本レース新設



3. 閉会式

閉会式は MARIS 笹川義弘会長のご臨席を頂き表彰式のプレゼンターをお勤め頂いた。最後に東京ゲートブリッジを背景に参加者全員での集合写真撮影で終了した。



後援

協賛企業ボード

国土交通省

経済産業省

スポーツ庁

一般社団法人・
日本マリン事業協会

静岡県

浜松市

湖西市

静岡県教育委員会

浜松市教育委員会

湖西市教育委員会

YAMAHA *Revs Your Heart*
SUZUKI
FB FURUKAWA BATTERY **鈴与株式会社** (Suzuyo)
NHK MEC ニッパツ・メック株式会社 **GK Kyoto** (Design and Planning)
有限会社イシガミ (ISHIGAMI) **株式会社丸菱製作所** (www.marubishi-co-ltd.com)
春華堂 **SUZUHARU**
MH MITSUBA ミツワ株式会社
TOHATSU **浜口ウレタン株式会社** (HAMAGUCHI URETHANE CO.,LTD.)
中村建設株式会社 (NAKAMURA CONSTRUCTION CO.,LTD.) (環境のリーディングカンパニー)

■主催/日本ソーラー・人力ボート協会

■共催/公益財団法人マリンスポーツ財団

日本ソーラー・人力ボート協会
JAPAN SOLAR & HUMAN POWERED BOAT ASSOCIATION

〒431-0102 浜松市西区雄踏町宇踏見 600-234

<http://jsa.blue.coocan.jp/>

JSHA事務局長(連絡先) 吉村直久 携帯Tel 090-7911-3104

〒432-8005 浜松市西区神ヶ谷町 1278-1

Eメール naramusiyo@ck.tnc.ne.jp

役職	氏名	大会役割
名誉会長	塩谷 立	
顧問	鳥井 徳孝	
顧問	八木 正生	
顧問	小林 昇	
会長	野口 晴也	実行委員長
副会長	中瀬 良一	競技委員長
副会長	柳原 序	競技
理事	吉村 直久	運営・事務
理事	藤井 賢一	競技・事務
理事	本山 孝	総務部
理事	大庭 恭二	広報・記録
理事	鳥井 徳英	計測
理事	城田 守	
理事	藤野 良一	
監事	渡部 亘	総務部
監事	吉間 隆朗	総務